

2026年度 大学院試験問題

6月試験

解答例

※著作権法上の理由によりウェブサイトに掲載できない過去問題は含まれません。なお、受験者のいない科目は、問題を作成していません。

出題の意図

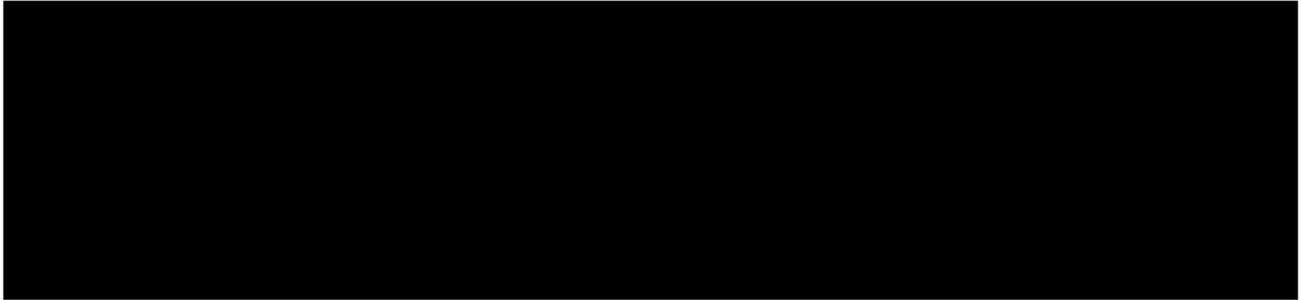
外国語科目：専攻での研究内容に関連した外国語能力を測った。

専門科目：専攻での研究内容に関連した基礎科目の習熟度を測った。

小論文：専攻での研究内容に関連した総合的知識と論述力を測った。

区 分	国際人間学研究科 歴史学・地理学専攻	科 目 名	<input checked="" type="checkbox"/> 外国語科目	<input type="checkbox"/> 専門科目	<input type="checkbox"/> 小論文	参 照 物 形 式	持込 <input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期・修 <input type="checkbox"/> 博士後期		<input checked="" type="checkbox"/> 一般試験 <input type="checkbox"/> 社会人試験 <input type="checkbox"/> 留学生試験				全部で 2 枚

【問題】 次の英語文の全文を日本語に訳しなさい。



国立国会図書館(NDL)は、日本の国立図書館であり、世界最大級の図書館の一つである。1948年に設立され、国会議員による公共政策に関する調査研究を支援することを目的としている。国立国会図書館は、東京と京都の2つの主要施設から構成されている。

国立国会図書館(NDL)は、1890年の帝国議会開設時に設立された貴族院の図書館および衆議院の図書館、1872年に文部省の管轄下に設置された帝国図書館という、3つの独立した図書館を前身としている。

受験番号

氏名

	配点	採点(得点)

2026 年度 中部大学大学院入学試験問題（試験日：2025 年 6 月 14 日）

国際人間学研究科 歴史学・地理学専攻 歴史学コース

〔問題〕 1949 年に成立した中華人民共和国の歴史の中で、国内外に対してもっとも衝撃を与えた事件として、プロレタリア文化大革命をあげることができる。現在の中国では、文化大革命が展開された 1966～1976 年は「災難の 10 年」と呼ばれ、社会の進歩に反する政治的事件であったとその価値を否定されている。さて、それでは実際にはプロレタリア文化大革命とはいかなる事件であったのであろうか。その概要をまとめなさい。

【解答のポイント】

- 1) 文化大革命とは 1966 年から 1976 年まで中国で展開された政治権力闘争である。
- 2) 大躍進運動挫折後、劉少奇が指導権を持ち、経済調整政策を行った。
- 3) 毛沢東は経済調整政策を「修正主義」「資本主義の復活」と受け止めた。
- 4) 毛沢東は文化大革命を発動し、中国政治を再び社会主義の道に乗せた。
- 5) 中共 9 全大会まで江青、林彪両グループが毛沢東を支持した。
- 6) その間、毛沢東と文革推進派は大衆を動員して「実権派」を失脚させた。
- 7) 9 全大会から 1971 年までの文革第 2 段階において林彪事件が起きた。
- 8) 1976 年毛沢東の死去後、華国鋒、葉剣英らが四人組を逮捕し、文革は終結した。
- 9) 1980 年の歴史決議で党中央は文革の路線を徹底的に否定する政治方針を出した。

2026年度 大学院試験問題

10月試験

解答例

※著作権法上の理由によりウェブサイトに掲載できない過去問題は含まれません。なお、受験者のいない科目は、問題を作成していません。

出題の意図

外国語科目：専攻での研究内容に関連した外国語能力を測った。

専門科目：専攻での研究内容に関連した基礎科目の習熟度を測った。

小論文：専攻での研究内容に関連した総合的知識と論述力を測った。

2026 年度 中部大学大学院入学試験 解答例

試験日：2025 年 10 月 4 日(土)

区	国際人間学研究科	科目名	外国語科目	専門科目	小論文	参照物	持込可	持込不可
	国際関係学専攻							
分	博士前期・修士	博士後期				形式	全部で	枚
	一般試験 社会人試験	留学生試験						

●留学生試験 英語選択

問1 採点ポイント

英語論述能力

説得性

近代的な学知の形成において植民地のアクターが果たした役割や帝国のネットワークにおける知の循環等を理解できているかどうか

なお、問1の和訳は次を参照のこと（『カピル・ラジ近代科学のリロケーション——南アジアとヨーロッパにおける知の循環と構築』名古屋大学出版会、序章P.5-6、2016）。

問2 採点ポイント

英語論述能力、説得性、科学史（とくに気象学史）について、最低限必要な知識が認められるか

●留学生試験 日本語選択

問1 採点ポイント

日本語論述能力

説得性

観光資源開発の問題（訪問者急増による環境破壊などオーバーツーリズム、等）を理解できているかどうか

問2 採点ポイント

日本語論述能力

説得性

持続的な開発について理解できているかどうか

配点	採点（得点）

2026 年度 中部大学大学院入学試験問題

試験日：2025年10月4日(土)

区 分	国際人間学 研究科 言語文化 専攻	科 目 名	専 門 科 目	参 照 物	不 可 ()
	博士前期/修士		情報社会コース 科目1 専門	形 式	全 部 で 2 枚 (すべて提出)
	一 般 試 験 ・ 留 学 生 試 験				

問【記述問題：基礎用語解説】

以下の用語の中から2つを選び、実例をあげながら、その意味を説明しなさい。

1. 創られた伝統 Invention of Tradition (社会学)

社会的・政治的目的のために新たに作られた「伝統」。例として、スコットランドのキルトや日本の成人式の儀式性など、実際には近代以降に形成されたものがある。

2. 柔軟な専門化 Flexible Specialization (社会学)

柔軟な専門化とは、市場の変化に応じて少量多品種の生産を可能にする仕組み。例としてイタリアの靴産業は、熟練職人と中小企業が協力し、多様な需要に迅速対応している。

3. 家父長制 Patriarchy (社会学)

男性を中心とする支配的社会構造。例として、企業における管理職の男性偏重や、家庭内で男性が意思決定を握る慣行などが挙げられる。

4. フィールドワーク Field work (社会学)

社会現象を現場で調べる方法。例として、商店街での参与観察により地域住民の交流や経済活動の実態を理解する。

5. エスニックビジネス Ethnic Business (社会学)

移民や少数民族が自文化を基盤に展開する事業。例として、在日中国人による中華料理店や、ブラジル人コミュニティの雑貨店などがある。

受験番号

氏 名

	配点	採点(得点)
--	----	--------

6. 文化継承 Cultural heritage (文化人類学)

文化継承とは、伝統や価値観・技術を次世代へ受け継ぐ営みを指す。例として、日本の能や茶道が師弟関係や地域行事を通じて伝えられ、社会のアイデンティティを保っている。

7. 3D スキャン技術 3D scanning technology (情報学)

3D スキャン技術とは、物体や空間を立体的に計測しデジタルデータ化する技術である。例として、文化財の仏像を 3D スキャンし、修復や保存、さらには VR 展示に活用されている。

8. デジタル化 Digitization (情報学)

デジタル化とは、情報や物をアナログ形式からデジタルデータに変換することを指す。例として、紙の書籍をスキャンして電子書籍化し、保存や検索、共有を容易にする取り組みがある。

9. ゲーム学習 Game-Based Learning (情報学)

ゲーム学習とは、教育にゲームの要素や仕組みを取り入れ、学習意欲や理解を高める方法である。例として、語学学習アプリでポイントやレベルアップ制を導入する実践がある。

10. 伝統工芸 Traditional crafts (工芸学)

伝統工芸とは、地域に根ざした技術や美意識を受け継ぎ、手作業で作られる工芸品を指す。例として、石川県の九谷焼や京都の西陣織などが挙げられる。

受験番号

氏名

	配点	採点 (得点)

問2で示した3つの文章(社説A・B・C)は、日本における外国人住民の受け入れに関する全国紙の社説である。これらの文章を読み、下記の問にこたえよ。

2-1 3つの社説の主張にみられる共通点について、簡素にまとめて説明せよ。

3紙の社説はいずれも、少子高齢化に伴う外国人受け入れの必要性を認めつつ、単なる労働力確保にとどまらず、人権尊重や文化の違いを踏まえた共生社会の構築が不可欠だと強調している。制度整備と地域支援を進める一方で、排外主義的な風潮に流されず、透明で丁寧な議論を重ねることを求めている。

2-2 これらの社説では、どのようにすれば排外主義に抗しようと述べているか。

4つの社説はいずれも、外国人を社会の一員として受け入れ、人権を尊重し制度や支援を整備すること、歴史の教訓に学び、理性的で透明な議論を重ねることが排外主義に抗する道だと強調している。

2-3 3つの社説に登場する「共生」という概念は、「多文化共生」ともいい、日本独自のものである。概念の説明とその問題点について、3つの社説に即して答えよ。

政府が移民政策を否定し外国人政策が不在となる中、3紙の社説は多文化共生を、外国人を社会の一員として位置づけ、人権保障と相互理解を基盤に共に暮らす社会を築く考え方だと示している。

2-4 3つの社説には含まれていない論点がいくつもある。そのうち1つをとりあげ、その視点から日本における外国人住民の受け入れについて議論を展開せよ。

4つの社説はいずれも、外国人受け入れの不可避性と多文化共生の必要性を強調し、排外主義への警戒を示している。しかし、そこで扱われていない重要な論点として「外国人当事者の声や主体性の欠如」が挙げられる。議論の多くは日本社会が「どう受け入れるか」に集中しており、当事者である外国人自身が社会をどう経験し、どのように日本社会を変えているのかという視点が不足している。

社会学的にみれば、移民や外国人労働者は単なる受け入れ対象ではなく、地域コミュニティや職場での相互作用を通じて「共生」の実践を日常的に担っている。たとえば、学校で学ぶ子どもたちは通訳的役割を果たすこともあり、家庭と地域社会をつなぐ媒介者となっている。また、外国人住民の文化的実践(宗教行事や食文化など)は、地域社会に新たな公共空間や交流の場を生み出している。こうした動態は、日本人側の「寛容」や「制度整備」だけでは説明できない。

したがって、多文化共生を社会学的に論じるには、外国人を「受け入れられる客体」としてではなく、「共生を創り出す主体」として捉える視点が不可欠である。社説が強調する制度や政策の枠組みに加え、移民自身のエージェンシー(主体的行為能力)や、彼らが社会関係を再構築する力に注目することが、より実質的な共生社会の理解につながるだろう。

受験番号

氏名

	配点	採点(得点)

2026年度 中部大学大学院入学試験問題

試験日：2025年10月4日(土)

区	国際人間学 研究科	科	外国語科目	専門科目	小論文	参照物	持込 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
	言語文化 専攻						(紙版英和辞書のみ)
分	博士前期・修士	目	情報社会コース 科目3 専門(英)			形式	全部で3枚
	一般試験		博士後期				(全て提出)
	社会人試験	留学生試験					

問2の英文は、Lee, J.; Bae, J.; Bae, Y. (2024). Implementation of a Gamification-Based Metaverse Exhibition: A Case Study of the Farewell Museum. *Sustainability*, 16(14), 6212.からの抜粋です。この研究は、メタバース展示にゲーミフィケーションを導入することで、オンラインとオフライン双方の利点を活かし、展示体験を強化する方法を探究したものです。具体的には、韓国のFarewell Museumという「別れ」をテーマとする展示プロジェクトで、オフライン展示とそれに連動するメタバース空間を組み合わせた形式をもつ博物館の事例研究となっています。展示の中にナビゲーションやタスク(ミッション)が設けられており、それをクリアすることで報酬を得たり、他の来訪者との対話や共感を深める構造が組み込まれています。これにより、ただ見るだけの展示ではなく、能動的な参加を促しています。研究では、メタバース要素とゲーミフィケーションを組み合わせたインタラクティブな仮想空間を設計し、ユーザーフィードバックを通じてその効果を検証しています。なお、本問はこの論文の前提(背景)となる部分を抜粋し、文献番号等を削除したものです。以上を踏まえて、以下の間に答えてください。

2-1 下線部1で、EU出資によるViMM projectはvirtual museum(仮想博物館)をどのように定義しているか。日本語で説明してください。

ViMMプロジェクトは、**仮想博物館**を「パーソナライゼーション(個別化)、インタラクティブ性(相互作用性)、ユーザー体験、そして豊かなコンテンツによって、現実の博物館を拡張・強化するデジタル存在」として定義している。つまり、単なる展示のデジタル複製ではなく、利用者の参加や体験を通じて、物理的な博物館の眼界を超える知的・感覚的な価値を提供するものである。

2-2 下線部2において、metaverseはどのように定義されているか、また、metaverseにはどのような種類(type)のものがあるとされているか。日本語で説明してください。

メタバースとは、「現実空間を仮想的に拡張した現実」と「現実と同様に持続する仮想空間」の融合として定義されている。その**タイプ**は、(1) 仮想世界、(2) 拡張現実、(3) 鏡像世界、(4) ライフログの4つに分類される。これらは内部・外部要素や実装空間・情報の性質によって区分されるものである。**トール**

2-3 下線部3では、臨場感、社会的交流、同時接続性が、メタバース展示空間内でのポジティブな体験を提供するうえで重要であることが、ユーザー満足度調査によって明らかになったと述べられています。ここでの「臨場感」、「社会的交流」、「同時接続性」は、それぞれどのようなことを意味しているか。日本語で説明してください。

臨場感: 仮想空間が現実と同じような心理的反応を引き起こす程度を指し、まるで実際にその場にいるかのように感じる感覚。**社会的交流**: 他の利用者と関わり合い、つながりや関係を築いたり強化したりすること。**同時接続性**: 複数の利用者が同時に参加し、協働的な活動や交流を円滑に行える度合いを意味する。これらを満たす設計によって、展示は単なる鑑賞空間を超え、共有・参加型の新しい展示体験へと進化する。

2-4 下線部4では、Davis, Murphy, Owensら(2009)が特定した、メタバース概念の根幹を成す5つの主要要素、即ち(1)メタバースそのもの、(2)人々/アバター、(3)メタバースの技術的能力、(4)メタバース内での行動、(5)メタバースにおける行動の成果について取り上げています。著者らは、これらの5つの主要要素を自分らの研究に当てはめるにあたって、どのように解釈していますか。表2の情報などをもとに日本語で説明してください。

Davisら(2009)の提唱するメタバースの5要素を下のように再解釈している。(1) **メタバースそのもの**: 展示テーマに即した世界観の構築。(2) **人々/アバター**: 来館者にふさわしいアバターやキャラクターの実装。(3) **技術的能力**: テーマを効果的に表現するUI/UXなどの機能実装。(4) **行動**: 来館者同士、またはNPCとの相互作用・ミッション設定。(5) **成果**: 来館者間のコミュニティ形成、報酬システム、持続的参加の促進。これら5視点を統合的に設計することで、メタバース空間が単なる展示再現ではなく、能動的な参加と共有の場となるよう意図されている。

2-5 下線部5で、著者らは、Nibu John Thomasらがゲーミフィケーションの効果を4つのカテゴリと11のテーマに分類したことに言及しています。11のテーマは、ゲームデザイナーが創出しようとする多様な体験を表しており、4つの上位カテゴリは、ユーザーが得る可能性のある体験のタイプを示しているとのことで、その4つのカテゴリとは、(1) ナッジ体験、(2) フロー体験、(3) 代替現実体験、(4) 快楽的体験であるとのことです。これらの4つのカテゴリについて、簡単に日本語で説明してください。

(1) **ナッジ体験**: ユーザーの行動を予測可能な方向へ促す体験。例: 環境保護を促す仕掛け。(2) **フロー体験**: 活動に完全に没入し、楽しみながら時間を忘れて集中する体験。(3) **代替現実体験**: 仮想性を通じて現実世界の意味を拡張し、新たな現実感覚を得る体験。(4) **快楽的体験**: 快楽・満足・幸福感など、ポジティブな情動を得る体験。これら4つのカテゴリは、ユーザーがメタバース展示で得られる体験の質を多面的に評価するための指標となる。

2-6 下線部6で、著者らは、Nibu John Thomasらによる11のテーマは、ゲーミフィケーションの設計者がユーザーにゲーム的な体験を提供しようとする方法についての示唆を与えるとともに、ゲーミフィケーション環境においてユーザーが直面し得る多様な側面を反映していると評価しています。その上で、自分たちのVR版Farewell Museumを制作するにあたって考慮すべき項目として、表2において各テーマについて簡単に要約しています。あなたがもし既存の博物館等のパラレルとして、ゲーム要素導入型メタバース展示を企画するとしたら、どれを重視しますか。最も重要だと思うものを1つ取り上げて、なぜそれが一番重要だと考えるのかを述べた上で、その要素をどのように組み込むかについて検討してください。

解答例:

私は、11のテーマの中で**代替世界の構築**(Construct an alternate world)を最も重視したい。理由は、現実の博物館では再現できない世界観を体験できることこそ、メタバース展示の最大の特徴であるからである。展示テーマの理解を深め、例えば、Farewell Museumの場合であれば、来訪者に「別れ」「時間」「記憶」など抽象的な概念を感覚的に体験させるには、異世界的・象徴的な空間演出が有効である。

実装方法としては、物理的展示物を単に3D化するのではなく、来館者が記憶や感情を具現化できるようなインタラクティブな空間を構築する。例えば、来館者の選択や行動によって空間の色調や音響が変化し、他者の体験と交差するような感情共有型の仮想環境を設けることで、個人の追憶を越えて集団的な**想像共同体**(community of imagination)を形成できると考える。

受験番号

氏名

	記点	採点(得点)

(1/3)

2026 年度 中部大学大学院入学試験問題

(試験日：2025 年 10 月 4 日)

国際人間学研究科 歴史学・地理学専攻 地理学コース

(1) 20 世紀後半以降、日本において観光（ツーリズム）の形態はどのように変化してきたか。そのような変化をもたらした要因に触れながら述べなさい。

【解答のポイント】

日本における観光の形態は、20 世紀後半以降、従来型のマストゥリズムからオルタナティブツーリズムへ、そして持続可能なサステナブルツーリズムへと移行している。その背景には、価値観の多様化、余暇時間の増加、グローバル化、技術革新などの社会的要因や、所得水準の上昇といった経済的要因のほか、政策的要因などいくつかの要因が重なっている。

[高度経済成長期]

- ・団体旅行による名所・旧跡や景勝地を巡る「モノ消費型」の形態が主流であった。
- ・所得水準の上昇、余暇時間の増加、交通機関の発達を背景として、マストゥリズムが急速に拡大した。

[バブル経済期]

- ・それまでの大量消費型観光に代わり、エコツーリズムやグリーンツーリズムなどの個人や小グループを対象とした体験型のオルタナティブツーリズムが広がった。
- ・自然や地域との交流を楽しみながら学ぶといった「コト消費型」のツーリズムが展開した。

[2000 年代以降]

- ・コンテンツツーリズムに代表される「イミ消費型」のツーリズムが登場した。
- ・これは、アニメ・映画・小説など虚構と現実の空間を重ね合わせ、自らが物語の世界に身を置くことを目的として現地を訪れる新しいタイプの観光である。

[今日]

- ・2007 年に施行された観光立国推進基本法により観光が国家戦略として位置づけられ、格安航空会社の就航拡大やビザ緩和なども追い風となり、インバウンド観光が急増した。
- ・オーバーツーリズムが深刻な問題として顕在化し、サステナブルツーリズム（持続可能な観光）への転換が求められている。

(2/3)

2026年度 中部大学大学院入学試験問題

(試験日：2025年10月4日)

国際人間学研究科 歴史学・地理学専攻 地理学コース

(2) 観光（ツーリズム）は地域にいかなる影響をもたらすか、簡潔に述べなさい。

【解答のポイント】

観光（ツーリズム）は地域に大きな効果をもたらす一方で、環境面、社会・文化面、経済面などにおいてさまざまな問題を引き起こしている。

[プラスの影響]

- ・観光は、地域経済の活性化や雇用の創出といった経済的効果のみならず、地域文化の再評価や交流による地域アイデンティティの強化にも寄与するといった社会・文化的効果も併せ持つ。
- ・観光地としての整備が進む過程において交通インフラや公共施設の充実が図られることで、地域住民の生活環境の向上にもつながる。

[マイナスの影響]

- ・オーバーツーリズムは、環境への負荷を増大させるとともに、渋滞や騒音、治安悪化は地域住民の生活環境を悪化させ、観光客との摩擦を引き起こす要因となる。
- ・地域の伝統行事が観光ショー化するなど、社会・文化的側面における影響もある。
- ・経済面においても、観光依存型のモノカルチャー経済はパンデミックや災害といった外的要因に脆弱であるほか、観光・リゾート地の地価の高騰を招くといったリスクも抱えている。
- ・近年のインバウンド観光の急増は外貨獲得という面で大きな経済的効果を生んでいるが、その利益の多くは外資系企業や大手事業者に流れ、必ずしも地域社会に還元されていないという問題もある。

(3/3)

2026年度 中部大学大学院入学試験問題

(試験日：2025年10月4日)

国際人間学研究科 歴史学・地理学専攻 地理学コース

(3) 地理学の視点から観光（ツーリズム）について研究する場合、どのような視点からの研究が考えられるか、簡潔に述べなさい。

【解答のポイント】

観光（ツーリズム）は地理学にとって極めて興味深い研究対象であり、以下のような「人の移動」「空間の利用」「地域変容」といった地理学の基本的なアプローチによる研究が考えられる。

[人の移動の視点から]

- ・観光客の観光行動に着目した研究であり、観光客がどこから来訪し、どのようなルートで観光地を巡るのかを分析し、その移動状況や空間利用の実態を把握し、観光の空間パターンを解明する研究。

[空間の利用の視点から]

- ・観光地の形成過程や立地条件、空間構造を分析する研究であり、観光資源の分布や観光客の来訪状況を把握するだけでなく、場所に着目し、特定の場所がどのように観光地化していくか、また場所のイメージがどのように形成されていくかを考察する研究。

[地域変容の視点から]

- ・観光が地域社会に与える影響を空間的に考察する研究であり、オーバーツーリズムによる地域生活環境への負荷や、グリーンツーリズムなどの新しい観光の導入が地域に及ぼす影響など、観光地の持続可能性を考察する研究。

2026年度 大学院試験問題

2月試験

解答例

※著作権法上の理由によりウェブサイトに掲載できない過去問題は含まれません。なお、受験者のいない科目は、問題を作成していません。

出題の意図

外国語科目：専攻での研究内容に関連した外国語能力を測った。

専門科目：専攻での研究内容に関連した基礎科目の習熟度を測った。

小論文：専攻での研究内容に関連した総合的知識と論述力を測った。

2026 年度 中部大学大学院入学試験問題

1/2

試験日：2026年2月21日(土)

区 分	国際人間学 研究科 言語文化 専攻	科 目 名	外国語科目・ <u>専門科目</u> ・小論文	参照物	持込 可・不可 ()
	<u>博士前期/修士</u> ・ 博士後期		情報社会コース	形式	全部で 2 枚
	一般試験・ <u>社会人試験</u> ・留学生試験				

問：人間は想像する生き物であり、昔から未来を想像した作品が多く描かれてきた。また、19世紀に20世紀に基幹となる新たなメディア装置が開発されて以降、小説で描いた未来は、たとえば映画やアニメーションなどにアダプテーションされ、文字だけで読者の想像力に任せてきた未来の世界像は、視覚化された作品へとようになっていった。また、科学技術を中心としたさまざまな分野での研究の発展によって、人間の生活は文明化し、より人間にとって生活しやすい（別の言い方をすれば人間がいかに楽に暮らせるか）世界の想像が描かれ、それが多く現実化してきた。その一方で人間の想像力は、そのさらに先を考え始め、しばしば科学技術の暴走に対する恐怖なども描かれるようになった。

これまで数多くの小説や漫画で描かれた未来の社会を題材にした作品の中で、アダプテーションやメディアミックス化され、アニメーション（映画、テレビを含む）や映画作品として、より視覚的にその世界が描かれた作品の中には、すでに作品内で想定していた年月を過ぎたものもある。例を挙げると、ジュール・ヴェルヌが1865年に発表した小説『地球から月へ』では、186X年の世界を描いている（ちなみに1870年に発表した『月世界へ行く』とまとめて、現在は『月世界旅行』という長編二部作の作品としてよく知られている）。1902年にジョージ・メリエスはヴェルヌの作品を基に、内容を多少変更しながら『月世界旅行』という映画を発表した。ヴェルヌ自身が小説内で意図的に現実世界を無視した風刺作品としているという説もあるが、それはさておき、視覚化された『月世界旅行』は、現在のわれわれから見ると宇宙への知識とかけ離れたおとぎ話にしか見えない。

具体的に、例に挙げたように既に設定された時期が2026年度以前を描いた小説や漫画など取り上げ、それらを原作として、動く視覚化としてメディアミックス化された映画やアニメーション作品を挙げて、比較し、我々の想像力が描いた未来が現実の時期を迎えたときに、どこまでが実現されたものであり、どこまでが実現不可能、あるいは理論的に齟齬をきたしているものかの両者を考察し論じてください。作品の年代などはだいたいの時期で構わない。比較検証する事項が少ない場合は、具体例を挙げる作品を複数取り上げて構わない。また、視覚化され実現化されたものも正確に現実のものと同じではなくても機能などその用途が一致していれば実現化に含めることとする。考察し論じる時には、必ず具体例とともにその根拠を挙げる。また、作品内で設定された時期の後、実現化あるいは実現可能などところまで来ている想像物/創造物があればそれも含めて論じてください。

*万が一、スペースが足りない場合は2枚目の裏面を使用してください。

例として原作小説『アンドロイドは電気羊の夢を見るか』とその映画化作品『ブレードランナー』を取り上げる。まず小説は1968年にフィリップ・K・ディックによって書かれたものであり、21世紀初頭が舞台のSF小説である。映画化作品『ブレードランナー』は1982年に公開された。最後のクレジットに「フィリップ・K・ディックに捧ぐ」と最後に書かれている。が、小説は長編であり、映画が2時間弱であるため内容は大幅に変更せざるを得ないため、全く別物といわれることもある。しかし映画製作者たちは上記のタイトルを入れたことからわかるように、大きな内容やテーマは共通している。

では、映画によって視覚化されたさまざまな機器や風景や登場人物を具体的に見ていき、考察していこう。映画では21世紀初頭ではなく、2019年のロサンゼルスと明記されている。小説の舞台はサンフランシスコであるがカリフォルニア州という意味では近い。小説と基本的に同じ内容として、地球に逃亡してきたアンドロイド(映画ではレプリカントと呼んでいる)を発見し、処分する(殺す)こと、またアンドロイドの描写も優れた身体能力と知性を持っている点である。小説ではそのうえ感情や記憶も備えているとあるが、映画では基本的に奴隷扱い＝単なる労働力として人間がとらえているために感情や記憶はないが、労働していくうちに感情を学び身につけていくと変更されている。感情を持ち始めると人との区別がますますつかなくなるためにレプリカントの寿命

は4年として製造されている。だが、天才科学者でレプリカントの発明者はより高みを目指し、最新型のレプリカントであるレイチェルに自分の姪の記憶を移植させ本人ですら人間かレプリカントかわからないほど精巧に作られている（小説のアンドロイドがこの姿である）。人工知能の開発は1950年代から始まっているのでそれが進化した先のイメージとして人間そっくりのアンドロイドが想像されたといえるが、人型の人造人間は1920年代の『メトロポリス』に出てくるし、さらに遡れば19世紀にフランケンシュタイン博士が人造人間を作り出す小説が発表されており、人類の長い夢であるといえる。要は2019年の段階でどれくらい実現に近づいたかがポイントである。1990年代頃に産業ロボットや医療診断を行うAIを搭載したものは開発・実用化され、2000年代にディープラーニングを行うようになるため、現実社会では映画で役者が演じるような人と区別がつかないほどのレプリカントはまだ登場していない。しかし2020年代ではほぼ実現しているが、人と見間違えるまでの外見はない。（もちろん倫理上の問題もその背後にあるだろうが、それは別の話のためこれ以上は触れない）。また、ロサンゼルス風景は地上を走る車と空を飛ぶ車が登場するが、空飛ぶ車もまだ完全に実現化されていない。酸性雨がふる町では、多種多様な人種が描かれているが、アジア系と白人系がほとんどであり黒人の姿が見られないのも現実と乖離している。だがある意味1980年代の白人を中心としたアメリカ人の人種差別を反映していると考えれば無意識化の現実社会の価値観が描かれているともいえる。また、金持ちはほかの惑星で生活しているように語られるが、これも2019年では地球以外の惑星に人が住むのは構想段階であり、宇宙探索で情報を収集しているのが現実である。写真などを自由に縮小・拡大、方角を変えてみることででき、またそれを声に出して命令することで可能である機器は、現在のPCなどに近い。1980年前後にパーソナルコンピュータの開発が本格化し実用化されていくため、この視覚化は当時の技術から想像されたものと考えられる。そのため、大きな違いがデータという概念ではなく、紙に現像された写真をフロッピーディスクのように差し込んで解析する形であり、あらゆるモニター類はブラウン管の形状である。携帯電話も登場しない。ただ電話は画面に相手の顔が映る仕様にはなっている。小説が構想した50年後の世界を、映画化した段階では40年後弱の世界は、2019年を迎えたときに実現化した、あるいは似たような機能が実現化しているのは画像解析に使用された機器であり、AI搭載も近いところまでは描かれている。また酸性雨がふり、地球が住みにくくなり豊かな層が地球外の惑星で生活するのは実現不可能とまではいわないが、まだ遠い道のりとも考えるほうが妥当であろう。だが、酸性雨がふるという現象に関しては、2019年の地球の環境破壊を見事に言い当てていると考えてよいだろう。

上記の解答例以外に、具体例として1926年完成1927年公開の『メトロポリス』（100年後の世界の設定＝2026年）、1968年の『2001年宇宙の旅』、1989年の『バック・トゥ・ザ・フューチャー PART2』（2015年の未来にタイムトラベル）、1975年の『デス・レース 2000年』、2009年の『2012』、1987年の『ロボコップ』（2010年設定年）など、他にも多数ある。条件を満たしていればどの作品を具体例に挙げてかまわない

受験番号

氏名

	配点	採点(得点)
--	----	--------

2026 年度 中部大学大学院入学試験問題

試験日：2026年2月21日(土)

区 分	国際人間学 歴史学・地理学	研究科 専攻	科 目 名	外国語科目・専門科目・小論文	参照物	持込 可・不可 ()
	博士前期/修士	・ 博士後期		専門科目	形式	全部で 3 枚
	一般試験・社会人試験・留学生試験					

問1 次の英文を読んで、大意を述べなさい。(15点)

網野善彦氏は、『無縁・公界・楽』という書物を1978年に著したが、ここで無縁の集団や無縁の場に、女性の姿がしばしば、また多く見出すことができると指摘している。「職人歌合」のなかには、女性が多く確かめられる。大原女は炭売りの女商人である。桂女は鵜飼の女性であり、鮎売りの商人であった。そのようなことは、文書からも確かめられる。栗津橋本供御人は京の六角町に四宇の店をもち、生魚を売っていたが、嘉元四年(1306)に「みな女商人なり」と伝えられている。他の供御人にも、女性は多く確かめられる。金融業にも女性は深く関わっていた。網野氏によると、土倉の管理や金融は、無縁の人によってなされていたと説かれている。

このような無縁の場は商業や流通などと深い関わりがあり、女性はその担い手として多くの者が参加していた。中世後期になると、次第に無縁の原理が衰退し、その領域は合理主義の影響を受けた地域領主によって支配されていくこととなった。網野氏によれば、無縁の場の衰退は、女性の立場の低下と連動している、と説いている。これは、いわゆる「女性の世界史的敗北」の過程の一環である、という。この「女性の世界史的敗北」とはエンゲルスによってあらわされた言葉であり、世界史的現象として社会の一定の発達段階において発生する女性の地位の転落を指す。

受験番号

氏名

	配点	採点(得点)
--	----	--------

2026 年度 中部大学大学院入学試験問題

試験日：2026年2月21日(土)

区 分	国際人間学 歴史学・地理学	研究科 専攻	科 目 名	外国語科目・専門科目・小論文	参照物	持込可・不可
	博士前期/修士	・ 博士後期		専門科目	形式	全部で 3 枚
	一般試験・社会人試験・留学生試験					

問2 日本中世における女性の社会的地位や経済的な権利などを扱った研究内容について、知るところを論じなさい。(15点)

女性史に関する研究は1920年代に西岡虎之助氏によって行われており、1937年には歴史教育研究会の『女性史研究』の遠藤元男氏によって、女人成仏に関する論文がある。他にも、戦前に三浦周行氏・魚澄惣五郎氏・岡田章雄氏らが家族制度や女性の立場、経済的地位などについて研究をしている。なかでも、高群逸枝氏は母系制や招婿婚の研究を進め、女性のおかれた社会的地位や経済的な権利に関する議論が深められたと言えよう(『母系制の研究』1938年、『招婿婚の研究』1953年など)。高群氏は中世における嫁取婚の成立と相続権の喪失が女性の地位を低下させたと言った。この見解はのちの女性史研究を大きく規定し、女性史研究は婚姻制か相続制が大きなテーマとして受け止められるにいたった。また、井上清氏によれば、父権の成立とは、律令国家権力が家父長制を基礎とする政治体制をとったことに求められており、被支配階層では制度的に家父長制のもとにありながら、実際には平等性が展開していたという(『日本女性史』1948年)。

これらの見解を踏まえて、1970年代から1980年代にかけて、女性の解放、父権の成立、女性の従属化について、さらに考察が深められた。例えば、財産のある女性の家が夫を迎える場合は女性の地位が高いと見なしうるが、関口裕子氏が指摘しているように、婿取婚であっても妻の父の家父長権の発揮こそが重要であり、婿取婚において女性の地位が高かったという評価は一面的な見方とも言える(『歴史学における女性史研究の意義』1977年)。婿取婚が一般化すると同居している女性は正妻となり、妻問婚は一夫多妻の次妻以下の場合が多くなるため、一家を構える財産のない家の女性は、夫方に引き取られることを望むようになる。他にも、脇田晴子氏は被支配層においても農民・商工業者なども生産手段・対象としての土地・工具などをもって自立するため、被支配層においても家父長制実現の要求をもち、上からの家父長制度と合致してゆくと見なした(『歴史学と女性』1983年)。このように階層や財産によって家父長権や女性の立場は異なっていたため、そのようなことを考慮に入れて分析、評価することがなされるようになった。

女性の財産相続権については、福尾猛市郎氏によって分割相続から単独相続への移行過程において、女子の永代相続から一期分への変化が明らかにされている(『中世日本女性とその退転事情』1955年)。これより鎌倉時代の女性の地位の高さと、相続権の喪失により、女性の権利が下落したという認識が定着した。五味彦彦氏は女性財産権の具体的内容を明確にし、結婚した場合に夫の管理下に入る夫婦同財と、夫に知行・進退されず、妻が知行する夫婦別財の区別があることを明らかにした。しかも、公家法は夫婦同財、武家法は夫婦別財の原則であったこと、財産をもつ妻と異なり、財産をもたずに扶持される妻は扱いが異なり、夫に隷従すること、女子には他家に隷従させないために財産を与えていたことなどを説いた(『中世財産相続法の成立』1989年)。

庶民の場合、河音能平氏によれば、女性は公事名を名請けする権利がないという通念が形成されており、家父長の連合体としての村落共同体が家内部の平等な夫婦関係を家父長的支配にするよう推進したという(『中世前期村落における女性の地位』1982年)。田端泰子氏は庶民家族の方が家父長制家族の成立が早かったと見なしている(『日本中世の女性』1987年)。脇田晴子氏は、領主が男性のみを名請人とするという家父長的意識をもてば、名主にまで浸透し、商工業者の場合でも女性が実働している酒造り、土器作りも夫の名前で名請けされていることを指摘している(『中世における性別役割分担と女性観』1982年)。

中世の「家」とは、政治行政であることは言うまでもなく、農業・商業・手工業・芸能といったあらゆるものの組織体であり、その「家」で家内の仕事の総責任者である妻の地位は高かったとも見なされている。妻の役割の類型として、産む性、家政能力、遊ぶ性があり、支配階級の「家」には公武を問わず、似たような構造にあった。「家」での役割分担から、女性の立場や地位について検討されており、例えば、後藤みち子氏によると、公家の家における「主婦権」の観点から、家における女性の立場を解明している(『中世公家の家と女性』2002年)。このように、多くの観点から女性の社会的地位や経済的な権利などの研究が進められている。

〈参考文献〉脇田晴子『日本中世女性史の研究』(東京大学出版会、1992年)、田端泰子『日本中世女性史論』(塙書房、1994年)、同『日本中世の社会と女性』(吉川弘文館、1998年)、西村汎子『古代・中世の家族と女性』(吉川弘文館、2002年)など。

受験番号	氏名		配点	採点(得点)
------	----	--	----	--------

2026年度 中部大学大学院入学試験問題

試験日：2026年2月21日(土)

区 分	国際人間学 歴史学・地理学	研究科 専攻	科 目 名	外国語科目・専門科目・小論文	参照物	持込 可・不可 ()
	博士前期/修士	・ 博士後期		専門科目	形式	全部で 3 枚
	一般試験・社会人試験・留学生試験					

問3 女性史研究の課題について、研究動向を挙げつつ、考えるところを論じなさい。(20点)

女性史の課題について、例えば、脇田晴子氏は、単に女性を歴史学の対象とするだけではなくて、男女の平等論に立った歴史学であると説く(『日本中世女性史の研究』1992年)。この男女平等とは、支配者の男性はもちろんのこと、被支配者の男性がもっている特権や、それに伴う義務も平等に分け与えることである。それは女性がこれまでもっていた権利や義務のうち、その半分を男性に渡すということをも意味する。このような平等論に基づく女性史は、歴史学のなかの対象として問うことを忘れていた学問の家父長的体質、父権的学問の中身を問い直す営みであると述べる。

具体的に言えば、歴史学は氏族、そして家族・家の成立のように、絶えず支配者の家、被支配者の農奴、労働者の家の成立を社会の基礎単位として扱ってきたが、その「家」の中、すなわち、家内のあり方を問題にすることはあまりなかったということである。奴隷主、農奴主のかかえる奴隷、下人、名子、被官、家人などの男性隷属民が、支配者の性格を決定するものとして研究対象とされたが、妻のあり方は夫の権力を規定するものとして研究対象になることはなかった。加えて、女性隷属民が社会的生産様式を決定する労働力として見なされることもなかった。夫の家父長権は抽象的なままでも様々な権力のあり様や評価などを論じる効能を果たしてきたが、妻は夫に包含されるものとしたまま、取り立てて検討がなされてきたわけではなかった。このような家内のあり様の見方を問い直したことは、女性史の大きな功績であると述べる。

これは現在の社会問題の中でも、婦人問題の歴史的究明が課題になることは言うまでもなく、現在の婦人問題が現代社会の差別の構造に根差してひき起こされるものであるため、その差別が何に基づいているのか、その生成・展開の原因を究明し、解放の条件を探ることが、女性史の課題となる。例えば、女性は男性より劣っているかどうか。また、女性の天職論、出産、育児、家事、そのみが女性の存在価値とすることへの疑問等を解明し、このような偏見の根源を探ることである。

このような問題関心から、多くの研究がなされてきた。女性解放史の視点から、女性史が大いに展開した。父権の成立や、女性の従属の要因、性役割分担などが議論された。1982年に出版された『講座 日本女性史』は女性史の通史としてこれまでの研究成果が示されている。1990年代になると、日本女性史はジェンダー、つまり社会的、文化的に形成された性別・性差を視点として取り入れるようになった。ジェンダーは主に権力によって政治的に形成される場合が多い。『ジェンダーの日本史 上・下』(1994・1995年)が刊行され、身体、性愛、生活、労働などの側面で、性差が発現する過程が階層ごとに研究対象となっていた。

このような研究動向を適宜踏まえつつ、私見を述べることが求められる。例えば、西村汎子氏によると、女性の歴史を追究する方向は大きく分けると、どのような条件のもとで生活してきたかと、どのように生きたかの二つに分けられると述べている(『古代・中世の家族と女性』2002年)。前者では、女性の隷属の発生・変遷とその原因、階層による相対的な違い、性別役割分担の変化、親族・婚姻・家族の形態と家族関係、売春制度、宗教思想、社会の教育観・女性観、衣食住の生活習慣などがどのように関わりながら、女性たちの生活と意識を規制していたのかを探ることが説かれている。後者では、農民・漁民・商家・職人、支配層の女性たちが男性と共にどのように働いて人々の物質生活を支えてきたか、どのように子を産み、育て、老人を介護し、家事労働をしてきたのか、どのような意識のもとに子らを教育し、家族関係を作り、また単身生活を営んでいたのか、親族共同体・地域との関係ではどのような役割を果たしてきたのか、その努力や葛藤、喜び、悲しみを明らかにしたいと述べる。解答としては、このような点を解明する試みから、現代社会にいかなる問題提起をするのか、現代社会を捉え直し、より改善し得る視点を具体的に論述することが求められる。

〈参考文献〉脇田晴子『日本中世女性史の研究』(東京大学出版会、1992年)、田端泰子『日本中世の社会と女性』(吉川弘文館、1998年)、西村汎子『古代・中世の家族と女性』(吉川弘文館、2002年)など。

受験番号	氏名		配点	採点(得点)
------	----	--	----	--------

【解答例】2026年度 中部大学大学院入学試験問題

試験日：2026年2月21日(土)

区 分	国際人間学研究科 歴史学・地理学専攻	科 目 名	外国語科目・ <input type="checkbox"/> 専門科目・小論文	参照物	持込可・ <input type="checkbox"/> 不可 ()
	<input type="checkbox"/> 博士前期/修士・博士後期 <input type="checkbox"/> 一般試験・社会人試験・留学生試験		歴史学	形式	全部で 1 枚

[問題] 一般に、1912年から1949年に至る中華民国史の時期の政治は、1949年に成立した中華人民共和国の政治と密接に関連するものとされている。それでは、中華民国の時期の政治構造はどのような点で中華人民共和国の政治構造へと引き継がれたのであろうか。両者の政治構造の連続性について論じなさい。

【採点基準】

答案作成に際して、以下に示したような用語を使って論述することが望ましい。

(1) 「中華民国史の時期の政治」について論じる際に使用することが望ましい用語

- ① 辛亥革命、共和制、袁世凱の政治
- ② 軍閥時期の政治、中華民国北京政府
- ③ 中国共産党、中国国民党、孫文、第一次国共合作、国民革命、張学良の易幟、ナショナリズム、民族主義
- ④ 南京国民政府、国民党政権、蔣介石、訓政、党国体制、以党治国、一党支配
- ⑤ 日中戦争、抗日戦争、第二次国共合作、重慶と延安、毛沢東、大衆路線
- ⑥ 抗戦勝利、国共内戦、憲政、人民民主主義独裁

(2) 「1949年に成立した中華人民共和国の政治」について論じる際に使用することが望ましい用語

- ① 中華人民共和国成立、連合政府、過渡期の総路線、社会主義改造、大躍進、経済調整政策、文化大革命
- ② 改革開放、六・四天安門事件、鄧小平の政治、高度成長
- ③ 共産党の指導、毛沢東思想、権威主義支配

受験番号

氏名

配点

採点(得点)

【解答例】 2026 年度 中部大学大学院入学試験問題

試験日：2026 年 2 月 21 日(土)

区 分	国際人間学研究科 歴史学・地理学専攻	科 目 名	外国語科目・ <input type="checkbox"/> 専門科目・小論文	参照物	持込可・ <input type="checkbox"/> 不可 ()
	<input type="checkbox"/> 博士前期/修士・博士後期		外国語能力 (中国語)	形式	全部で 2 枚
	<input type="checkbox"/> 一般試験・社会人試験・留学生試験				

〔問題〕 次の中国語文の全文を日本語に訳しなさい。

【解答例】

毛沢東思想の内容をきっちり定めることは簡単ではない。また、その内容を規定した公的な文献も存在しない。

その原因は、確かに中国共産党は社会分析と革命理論の 2 つの側面でマルクス主義にほぼ従ってはいるが、他方で共産党は中国革命の過程で生じた多くの独自性を表現するために「毛沢東思想」という概念を用いがちであるということにある。よって、毛沢東思想は思想的立場、活動方針、運動方法など多岐に亘る内容を持つものであって、その主な論点は以下に示す通りである。(1) 巨大な農民大衆の中で革命運動を進めるには、彼ら彼女らの思いをつかみ、利益を守って、力を結集することが最優先の課題であった。そこから、「大衆の中から来て、大衆の中へ至る」という大衆路線の考え方が導き出された。(2) この思想はまた、人民に奉仕するという道德規範の形成を促した。専制権力が統治する歴史的伝統の下、共産党員に対して人民に奉仕することを要求し、党の活動の根本原則としてその理念を打ち立てたことは、中国革命の展開の中で形作られた毛沢東思想の際立った特色である。(3) マルクス主義が工業化された近代的社会から生まれた思想であることを踏まえるならば、そのような条件をいまだ満たしていなかった中国にマルクス主義の理論を適用することは難しかった。そこで、毛沢東は主観的能動性によってこの懸隔を埋めようとした。主観的能動性とは、客観的世界に対する主体の能動的作用を強調するものである。このため、毛沢東思想では、社会を変革するにあたって強烈な主意主義の主張がなされた。要するに、毛沢東思想は、上述の思想的態度や運動方法によって特徴づけられるとともに、他方で「農村から都市を包圍する」、「新民主主義革命」といった中国革命の理論もまた、その内容を構成しているのである。

受験番号

氏名

配点

採点 (得点)

2026 年度 中部大学大学院入学試験問題

試験日：2026年2月21日(土)

区 分	国際人間学 歴史学・地理学	研究科 専攻	科目名	外国語科目・専門科目・小論文	参照物	持込可・不可 ()
	博士前期/修士 ・ 博士後期			専門科目	形式	全部で 3 枚
	一般試験・社会人試験・留学生試験					

問1 次の英文を読んで、大意を述べなさい。(15点)

戦国時代は荘園制の時代であろうか。この点には多くの議論が重ねられてきた。安良城盛昭氏は戦国時代を荘園制の時代とみなし、太閤検地によって日本は封建制の社会になったと説いている。藤木久志氏も同様に戦国時代を中世荘園制の最終段階とみなしている。荘園領主は年貢や公事を徴収していたことを根拠としている。豊臣政権はそのような荘園領主の土地所有体系を否定した。このような見方から、藤木氏は中世という時代の慣習を否定していく豊臣平和令を構想したのであろう。

豊臣政権の平和令、つまり私的な武力闘争の禁止は、全国を統一していく上で重要な理念であった。これは、惣無事ともいう。秀吉は大名同士の領地境目をめぐる紛争を停止させたのである。秀吉は関白に就任し、自身の命令は天皇の命令をうけたものであるとして、大名の私闘を禁じた。これは、実質的に大名の交戦権を秀吉が奪うものと言ってよい。また、秀吉は服属した大名に対して、絶対の服従を誓わせた。大名の領地の認定や境目についても秀吉が裁定した。秀吉は自身の命令に違反し、軍事行動をおこした大名を、天皇の命令に逆らう朝敵として討伐した。北条氏はそのような理由で、討伐された。

	配点	採点(得点)

受験番号

氏名

2026 年度 中部大学大学院入学試験問題

試験日：2026年2月21日(土)

区 分	国際人間学 歴史学・地理学	研究科 専攻	科 目 名	外国語科目・専門科目・小論文	参照物	持込可・不可 ()
	博士前期/修士・ <input type="checkbox"/> 博士後期			専門科目	形式	全部で 3 枚
	<input type="checkbox"/> 一般試験・社会人試験・留学生試験					

問2 戦国期から織豊期における美濃国とその周辺国の大名、国衆等の動向について、知るところを論じなさい。(15点)

応仁・文明の乱において、美濃守護土岐氏は西軍方の大名として参戦した。東濃の遠江氏も土岐氏に従い、西軍方となった。一方、西濃の富島・長江氏と飛騨の京極氏は東軍方に属した。このように守護や守護代、国人らは、東西いずれかの軍勢に分かれて各地で戦乱が起きた。尾張国でも、守護斯波義廉は西軍方であり、当初は西軍の勢力が優勢であったが、のちに東軍方の斯波義敏および織田敏定の勢力が強まった。尾張国の西軍方であった岩倉織田氏は美濃守護代斎藤氏との関わりが深く、美濃国と尾張国の勢力がともに戦うことも起きた。

美濃守護代を務めていた斎藤妙椿は西軍の中心的存在であったとも言える。その勢威は美濃周辺の諸国にも及んでいた。妙椿の跡を継いだ妙純も、越前朝倉氏や尾張織田氏との婚姻関係を通じて、周囲の国に多大な影響を有していたが、明応6年(1497)に妙純が六角攻めにおいて有力な一族郎党と共に戦死したことで、斎藤氏の勢力は衰えることになった(木下聡『美濃斎藤氏』2014年)。そのあとには、斎藤氏の家臣長井氏が台頭し、中でも新左衛門尉が長井氏を名乗ることとなり、新左衛門尉の子利政(道三)の時代になると、斎藤の名字を名乗ることが認められ、ついには美濃国主にまで上りつめることとなる。

美濃を支配し稲葉山城主となっていた利政(道三)は、尾張国の織田信秀と戦いをしていた。天文13年(1544)9月に織田信秀が美濃国稲葉山城下に侵攻した戦いは有名であるが、信秀方は大敗した。その後、信秀は尾張国内の武士の求心力を低下させ、美濃国ひいては三河国への関与を弱めていった。

天文15年(1546)に、土岐氏の家督争いが解決した。土岐頼芸と頼充が対立していたが、頼充に家督がいずれ譲られることになったため、頼充が帰国した。利政(道三)は娘を頼充に嫁がせて美濃守護の婿となったため、利政(道三)は立場を一層高めた。しかし、頼充は翌年に死去した。病死あるいは暗殺されたともいう。天文18年(1548)には頼充の弟頼香も利政(道三)によって殺害された。天文18年には、尾張の織田信秀が今川氏との対抗上、斎藤氏と和睦した。その頃、道三は娘(濃姫)を織田信長に嫁がせて、両家は関係を深めた。その後、天文19年(1549)に道三は土岐頼芸を追放し、自ら美濃国主となった(木下聡『美濃斎藤氏』2014年)。

ついに美濃を手中にした道三であったが、嫡子義龍との関係は悪く、弘治2年(1556)4月には合戦に及び、道三は義龍に討ち取られた。義龍は自らを一色氏に改姓したらしく、家格を土岐氏よりも高めようとした。斎藤義龍は道三を討って以降、尾張の織田信長とは事実上敵対関係となり、合戦に及んでいる。義龍は犬山織田氏や信長の弟信勝(信成)と関係を結ぶが、信長を脅かすほどの勢力にはならなかった。永禄3年(1560)に織田信長は桶狭間の戦いで、今川義元を討つと、美濃の斎藤氏への攻勢を強めることができた。永禄4年(1561)に義龍は病死し、子の龍興が跡を継いだ。永禄6年(1563)に信長は清須から小牧に拠点を移し、犬山および美濃へ進出する前線基地とした。この年には、西美濃の国境では、市橋・高木・毛利各氏が信長に属している。永禄8年に信長は犬山城を攻め落とし、西美濃にも進出し、自身の勢力範囲を広げた。永禄10年に信長は稲葉山城を攻め落とし、美濃国を制圧した。稲葉山城は岐阜城と名称が改められ、信長の居城となった。その翌年には足利義昭が信長を頼り、上洛を果たした。

天正4年(1576)に信長は近江に安土城を築いて、拠点を移した。岐阜城は長男の織田信忠が入り、美濃・尾張を支配した。東濃では、元亀年間から天正3年にかけて織田氏は武田氏との対立から、攻防がみられたが、長篠の戦いで、織田・徳川方が勝利すると、東美濃への武田方の影響は弱まった。

天正10年(1582)6月、本能寺の変で織田信長・信忠父子が討たれると、美濃国の支配も動揺し、可児郡兼山城の森氏が羽柴秀吉と結んで、勢力を伸ばした。やがて森氏は東濃四郡(恵那・加茂・土岐・可児)の大部分を支配した。

受験番号	氏名	配点	採点(得点)
------	----	----	--------

2026年度 中部大学大学院入学試験問題

試験日：2026年2月21日(土)

区 分	国際人間学 歴史学・地理学	研究科 専攻	科 目 名	外国語科目・専門科目・小論文	参照物	持込可・ <input type="checkbox"/> 不可
	博士前期/修士	<input type="checkbox"/> 博士後期		専門科目	形式	全部で 3 枚
	<input type="checkbox"/> 一般試験・社会人試験・留学生試験					

問3 中近世移行期の大名や国衆による合戦や地域支配に関する研究について、それらを扱う研究を適宜挙げつつ、その課題について考えるとこを論じなさい。(20点)

中近世移行期における大名や国衆による合戦や地域支配を論じる上で、大名や国衆の概念については様々な議論があるため、その点から述べていく。いわゆる戦国大名の研究史に関して、近世大名の先駆的形態と見て、戦国期と近世との連続性を主張する「連続説」と、戦国大名を中世の最終段階に位置づけて中世と近世の断絶面を強調する「断絶説」がある(池享『大名領国制の研究』1995年)。連続説には織豊政権や近世大名を基準として、個々の権力の差異を発展の段階差に置き換えるか、典型と例外として処理することで、事実上差異を捨象してしまい、織豊政権に必ずしも収斂しない個々の特質としてとらえる視点を欠くという指摘がなされている(村井良助『戦国大名権力構造の研究』2012年)。また、幕府一守護体制の解体と対応して、16世紀には大名の地域支配は守護公権に基づくものであり、その大名を「戦国期守護」と規定する、戦国期守護論が提起された(今岡典和・川岡勉・矢田俊文「戦国期研究の課題と展望」1985年)。一国公権のあり様は東国と西国での違いなど、地域によって多様であり、必ずしも守護公権に依拠しない場合もあるため、「戦国領主」という規定から地域権力を分析する立場もある。いわゆる戦国大名は数郡から一国以上の広域の領国を支配する存在と見られているが、その内部には一門・家臣と国衆による領域支配がなされていた。国衆は大名との関係において、いわば外様であり、大名の家組織の外部に該当する。国衆は大名権力から自立的であり、支配領域内には大名の介入を受けることはなかった。戦国大名と国衆の支配権力の質について差はなく、支配領域の差異でしかないという見解もあるが(黒田基樹『国衆』2022年)、そうであるとする、いわゆる戦国大名の成立過程が十分に捕捉できないという批判もなされている(川岡勉『戦国期守護権力の研究』2023年)。

このように大名や国衆の性格をめぐる議論は多いが、それらの権力がいかに地域を支配していたのかという点について述べる。これまで日本中世史の研究において、大名権力や在地領主の支配は、実力的(私的、暴力的)支配と、一定の正当性を帯びた公権的支配という二つの側面から議論がなされてきたと言える。例えば、永原慶二氏の大名領国制論では、いわゆる領主制論に基づくものであるが、領主制支配の二つの道として、私的・実力的支配と公的権力として制度的なものに依拠した支配があり、両者が相互補完するとしつつも、前者の側面が一貫して中世社会の前進的かつ基本的な担い手となると説く(『日本中世社会構造の研究』1973年)。大名領国制論はこの延長線上に措定されるものであるため、その成立においては「私的、実力支配」が重視される。

このような理解に対して、1980年代以降、支配の正当性を問題にする議論が盛んとなる。具体的には、先述の戦国期守護論や、地域社会論あるいは「自力の村」論が挙げられる。地域社会論は、地域を領主権力による支配の客体としてのみ見るのではなく、地域社会の秩序の中に領主の支配を位置づけようとするものである。それぞれの地域における合戦の意味も、領主権力による領土獲得や境目紛争のためか、あるいは地域社会の秩序を維持するためかが問題となる。この視角では、領主の支配が地域社会にいかにか受容されるかが問題となり、したがって実力的側面よりも、支配の正当性の側面がクローズアップされるという(村井良助『戦国大名権力構造の研究』2012年)。

このような合戦や地域支配に関する二元論的な議論は、様々に展開し、特に公権的支配については、統治権的支配、官僚制的支配、非人格的支配、さらには、領主の家支配とそれの及ばない平和領域としての無縁の世界という二元論を通じて、城下町空間の二元論にまで拡張されている。こういった多様な議論の中で、いかに新たな視角や評価を打ち出すかが課題である。村井良助氏は、大山喬平氏の在地領主の統治権的支配権は「構成的支配」の階級的転化形態であるとする指摘に基づき、様々な権力観成果をもとに考察を深めている。

以上のような点をもとに、中近世移行期の大名や国衆による合戦や地域支配に関する課題点、問題点を指摘し、その解決への視点や展望を示すことが望まれる。

受験番号	氏名		配点	採点(得点)
------	----	--	----	--------